

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2005-338579 (P2005-338579A)

【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-048

【出願番号】特願 2004-159289 (P2004-159289)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 E

G 0 2 F 1/1335 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 10 日 (2007.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源から発せられ、液晶ライトバルブによって映像信号に従った光変調がなされた光を投射面に投射して映像を表示する投射型表示装置において、前記光源から発せられた光の光路に、基板の両面または片面に紫外線吸収膜が成膜された紫外線遮蔽部材が挿入され、前記紫外線吸収膜が前記液晶ライトバルブに用いられている配向膜と同一材料からなる投射型表示装置。

【請求項 2】

前記光源から発せられた光を赤色光、緑色光、青色光の少なくとも 3 色の単色光に分離する分離手段を有し、前記紫外線遮蔽部材が前記分離手段によって分離された青色光の光路に挿入されている請求項 1 記載の投射型表示装置。

【請求項 3】

光源から発せられ、光変調手段によって映像信号に従った光変調がなされた光を投射面に投射して映像を表示する投射型表示装置において、前記光源から発せられた光の光路上に配置された光学素子の 1 つ以上に紫外線吸収膜が成膜されている投射型表示装置。

【請求項 4】

前記光源から発せられた光を赤色光、緑色光、青色光の少なくとも 3 色の単色光に分離する分離手段を有し、前記紫外線吸収膜が成膜された光学素子が前記分離手段によって分離された青色光の光路上に配置されている請求項 3 記載の投射型表示装置。

【請求項 5】

光源から発せられ、光変調手段によって映像信号に従った光変調がなされた光を投射面に投射して映像を表示する投射型表示装置において、前記光源のカバーガラスに紫外線吸収膜が成膜されている投射型表示装置。

【請求項 6】

前記カバーガラスがレンズ作用を有する請求項 5 記載の投射型表示装置。